

座標: 北緯34度28分0.44秒 東経135度49分34.14秒

ウィキペディア

石舞台古墳

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

石舞台古墳（いしぶたいこふん）は、奈良県明日香村にある古墳時代後期の古墳。国の特別史跡に指定されている。

元は土を盛りあげて作った墳丘で覆われていたが、その土が失われ、巨大な石を用いた**横穴式石室**が露出している。埋葬者としては**蘇我馬子**が有力視されている。

目次

概要

被葬者

研究・発掘史

入場

ギャラリー

周辺

脚注

参考文献

関連項目

外部リンク

概要

この節は**検証可能な参考文献や出典が全く示されていないか、不十分です。**出典を追加して記事の信頼性向上にご協力ください。（2018年12月）

墳丘は現在失われているが、下部は方形で、**20-50**センチメートル大の花崗岩の貼石を約**30**度の傾斜で積み並べられていた。墳丘の周りに幅**5.9-8.4**メートルの空堀がめぐり、幅約**7.0**メートルの外堤が設けられている。外堤を復元すれば一辺約**80**メートルで、高さは約**1.2**メートルである。

封土（盛土）の上部が剥がされているため、その墳形は明確ではなく、**2段積の方墳**とも**上円下方墳**とも、あるいは、**下方八角墳**とも推測されている。また、一辺**51**メートルの方形基壇の周囲に貼石された空濠をめぐらし、さらに外堤（南北約**83**メートル、東西**81**メートル）をめぐらした壮大な方形墳であるという。

埋葬施設は両袖式の横穴式石室で、西南方向に開口している。花崗岩で作られた石組みである。玄室は、長さ約**7.7**メートル、幅約**3.5**メートル、高さ約**4.7**メートル、羨道は長さ約**11**メートル、幅**2.5**メートルの規模を有する。また、石室内部には排水施設がある。約**30**の石が積みまれ、その総重量は**2,300**トンに達すると推定されている。石は古墳のかたわらを流れる冬野川の上流約3キロメートル、**多武峰**のふもとから運ばれた。

石室はすでにほとんどの埋葬品が盗掘に遭った後であり、**石棺**の欠片等が発見されるに留まった。羨道部と外堤から**土師器**と**須恵器**や銅の金具などが見つかり、時代が下る**宋銭**や**寛永通宝**も出た^[1]。

外堤の北西隅の外には刳坂（くりぬき）石棺を納めた**横穴式石室**があり、発見当初は**陪塚**（ばいちょう）であろうと推測されていた。しかしその後の調査で西側にも7基の横穴式石室が見つかり、いずれも石室内が整地されていたことなどから、石舞台古墳の築造にあたって周辺にあった古墳を削平し、土などを移したものと考えられている^[2]。

1952年（昭和27年）**3月29**日、国の特別史跡に指定された。

被葬者

被葬者は蘇我馬子であったとする説が有力である。『日本書紀』の**推古天皇34年（626年）5**五月の条に「大臣薨せぬ。仍りて桃原墓に葬る」とあり、大臣は、蘇我馬子を指している^[3]。封土が剥がされ、墓が暴かれたのは、**蘇我氏**に対する懲罰ではなかったかとする説もある。

ただし、異説があり、奈良大学の**水野正好**は、石の種類、築造年代などから**蘇我稲目**説を唱えている。

また、三重中京大学名誉教授の上野利三は石室の壁に「馬子墓」の文字が刻まれており、肉眼でも確認可能との説を主張している^[4]。

研究・発掘史

石舞台古墳が文献に記されるのは、江戸時代になってからである^[5]。**延宝9年（1681年）**の林宗甫『**大和名所記**』（和州旧跡幽考）に、石太屋という陵があると記しており、陵とは前後の文脈から**天武天皇**の陵と了解できる^[6]。「石太屋」（いしふとや）は大きな石で造った屋の意味で、これが「石舞台」と転訛したのではないかとの意見がある^[7]。**嘉永元年（1848年）**の『**西国三十三所名所図会**』にも、石舞台を天武天皇の**殯**のあとという記述があるが^[8]、現在では天武天皇の墓とする説を支持する学者はいない。

地元では他に「石蓋」（いしぶた）などの名前で呼ばれていた。「狐が女の姿に化けて古墳の上で踊ったことから石舞台と名付けられた」という伝説については、古墳のすぐそばで生まれ育った**網干善教**は、そのような話を自分は聞いたことがなく近年に創作された話であろう、としている^[9]。

明治時代に**喜田貞吉**が『日本書紀』にみえる**桃原墓**が石舞台にあたるとする説を発表し、以後これが有力になった。



露出する横穴式石室

所在地 奈良県高市郡明日香村島庄

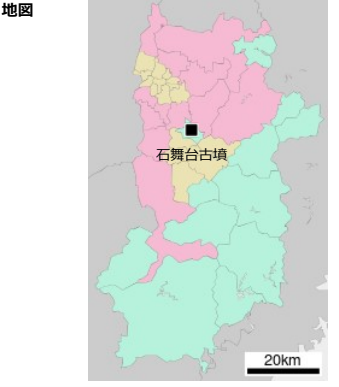
位置 北緯34度28分0.44秒 東経135度49分34.14秒

形状 不明

築造時期 7世紀初頭

被葬者 （推定）蘇我馬子

史跡 国の特別史跡「石舞台古墳」



1933年（昭和**8年**）と**1935年**（昭和**10年**）に京都帝国大学（当時）の**浜田耕作**らが中心となり、発掘調査が行われた。これより前には**前方後円墳**ではないかという説もあったが、貼石列、空堀、外堤の跡が見つかり、方形であることが判明した。発掘調査で古墳周囲の堀が見つかったのはこれが初めてのことであった^[]。

1954年（昭和**29年**）から**1959年**（昭和**34年**）にかけて古墳の復元整備事業が行われた。この時、外側の堀を掘るために上を通っていた**県道**が迂回させられた。

巨石が組み上げられた基本的な外観は江戸時代から変わっていないが、石室と羨道部はかなり崩れていた。現在は修復され^[]、内部が公開されているので玄室内に入ることも可能である。

入場

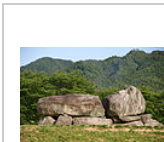
8時から17時まで

- 大人・大学生：300円
- 高校生：200円
- 中学生：150円
- 小学生：100円

ギャラリー



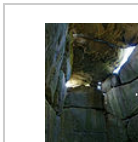
背面



側面



出入口



内部

周辺

- 岡寺
- 飛鳥坐神社
- 飛鳥寺

脚注

- ↑ 門脇 1970, p. 106.
- ↑ 網干善教「別冊太陽 飛鳥 古代への旅」（2005年、平凡社）p.33
- ↑ 『日本書紀』巻第22、推古天皇34年5月丁未（20日）条。新編日本古典文学全集『日本書紀』2の589頁。
- ↑ 上野利三（2011-03）.“『別冊太陽 飛鳥』所載石舞台古墳組石の写真に見える「馬子墓」字”. 三重中京大学地域社会研究所報（23）: 305-310.
- ↑ 門脇 1970, p. 102.
- ↑ 林宗甫. “大和名所記　和州旧跡幽考　第十五巻” (http://web.archive.org/web/20160930204634/http://www.katch.ne.jp/80/~heday/yamato15.htm)よりアーカイブ。2016年9月30日時点のオリジナル 国際税務の福袋 *International Tax Planning* 加藤英之・加藤英之. 2018年12月28日閲覧。
- ↑ 泉森皎「石舞台古墳」文化庁文化財保護部史跡研究会監修『図説日本の史跡 第3巻 原始3』同朋舎出版、1991年、46ページ。
- ↑ 武庫川女子大学関西文化研究センター (http://mkcr.jp/)・デジタル・アーカイブ (https://mukogawa.kicx.jp/da/index.html)『西国三十三所名所図絵』 (https://mukogawa.kicx.jp/da/search_result2.html?back=0&no=619&ichi=180)』No.454 (https://mukogawa.kicx.jp/da/list03.html?back=3&no=619&gazou=454)、No.455 (https://mukogawa.kicx.jp/da/list03.html?back=4&no=619&gazou=455)。2011年2月18日閲覧。
- ↑ 網干善教著・太田信隆構成　『高松塚への道』草思社、2007年10月、66-68頁。
- ↑ ^a ^b 門脇 1970, p. 103.

参考文献

出典は列挙するだけでなく、脚注などを用いてどの記述の情報源であるかを明記してください。記事の信頼性向上にご協力をお願いいたします。（2018年12月）

- 門脇禎二『飛鳥 その古代史と風土』日本放送出版協会〈NHKブックス〉、1970年。
- 小島憲之・直木孝次郎・西宮一民・蔵中進・毛利正守・校注・訳『日本書紀』2（新編日本古典文学全集3）、小学館、1996年。

関連項目

- 国営飛鳥歴史公園
- 日本の古墳一覧
- 日本の古墳画像一覧

- [大化の改新](#)
- [都塚古墳](#) - 馬子の父・稲目の墓とする説がある。
- [蛇塚古墳](#) - 巨石使用の石室が露出。高さ・幅では石舞台古墳を上回る。
- [八幡山古墳](#) - 通称「関東の石舞台」
- [飛鳥光の回廊](#)
- [火の鳥 \(漫画\)](#) - 「ヤマト編」に登場。
- [鹿男あをによし](#) - [フジテレビ](#)で放送されたドラマ。このドラマのロケで使用された。

外部リンク

- [飛鳥資料館・石舞台古墳 \(http://www.asukanet.gr.jp/ASUKA2/ASUKAKOFUN/isibutaiK.html\)](http://www.asukanet.gr.jp/ASUKA2/ASUKAKOFUN/isibutaiK.html)
 - [飛鳥資料館・馬子の墓 \(http://www.asukanet.gr.jp/ASUKA4/soga/soga09_3.html\)](http://www.asukanet.gr.jp/ASUKA4/soga/soga09_3.html)
 - [国営飛鳥歴史公園 石舞台古墳 \(http://www.asuka-park.go.jp/ishibutai/\)](http://www.asuka-park.go.jp/ishibutai/)
-

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=石舞台古墳&oldid=75129747>」から取得

最終更新 2019年11月25日 (月) 08:15 （日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストは[クリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンス](#)の下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は[利用規約](#)を参照してください。